


中京大学広報 198号

100th
UMEMURA
ベストMAX

真剣味

2021 May
Chukyo University
Public Relations Magazine

 CHUKYO UNIVERSITY



大きな変化を乗り越え、
輝く未来へ。

真を、ゆく。

それは、信じる勇気を与えるもの。

それは、眼差しの中に、いつでも夢を映し出すもの。

それは、タフに、しなやかに、ゆく道を照らし、

一歩、一歩、前を向く心を強くさせるもの。

それは、あなたの「真」。

それは、希望の源となり、全力で夢を叶えるために、

あなたの個性を最大化させる力。

未来を動かす「真剣味」の精神とともに、

梅村学園100周年。

心の真ん中にある個性を大輪のごとく咲かせ、

信じる道の、真をゆけ。

100th
UMEMURA
ベストMAX

スポーツ科学部3年 横井ゆは菜さん



梅村学園創立100周年 記念サイトを公開中



GREETINGS



梅村学園総長・理事長・中京大学学長、
中京大学附属中京高等学校校長のメッセージ

創立当時から受け継がれてきた理念と歴史。

そしてこれからの未来への想いを寄せて、

創立100周年記念サイトを開設いたしました。

周年事業に関する最新情報を随時掲載してまいります。

どうぞ皆さままでご覧ください。

TOWARD THE 100th



創立100周年に向けて、スローガン・ステートメント・ロゴを作成



100th HISTORY



校訓「真剣味」の下、受け継がれてきた理念と歴史を
写真とともに紹介



他にも、さまざまな情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください。



梅村学園創立100周年寄付金へのご支援のお願い

2023年の梅村学園創立100周年に向けて、学園で学ぶ学生・生徒たちが充実した教育環境で大きく成長していけるよう、寄付金事業を推進しております。中京大学と中京大学附属中京高等学校の「キャンパス整備」をはじめ、「教育活動、研究活動、社会・地域連携」「スポーツ活動」「給付奨学金」など、11項目に支援対象を分け、寄付金を募集させていただきます。是非とも本学園の取り組みにご理解をいただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

寄付金へのご支援はこちらのサイトへ▶



梅村学園は2023年に 創立100周年を迎えます。

梅村学園は、1923年、学祖・梅村清光が創立した中京商業学校を母体として誕生し、

2023年に創立100周年を迎えます。

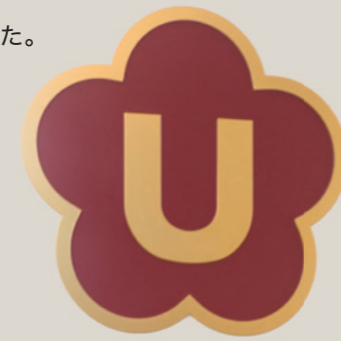
生徒数わずか350人余りの中京商業学校から始まった本学園は、

現在中京大学・附属高等学校合わせて約1万3千人の

学生・生徒が学ぶ男女共学の総合学園に発展しました。

約18万人にも及ぶ卒業生は、産業界や教育界など

幅広い分野で活躍しています。



UMEMURA
Educational Institute



学校法人梅村学園 総長・理事長

中京大学学長

梅村 清英

学校法人梅村学園は、2023（令和5）年に創立100周年を迎えます。この大きな節目を迎えることができるのは、これまで学園との関わりを持っていただいた全ての皆さま方の温かいお力添えの賜物であり、深く感謝を申し上げます。

1923（大正12）年の中京商業学校（現在の中京大学附属中京高等学校）の開校に始まる梅村学園は、校訓「真剣味」と建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を掲げ、教育・研究活動と人材育成に取り組んできました。「真剣味」は、水戸学の真髄の一つである「文武不岐」に由来し、「知・体・徳」のバランスの取れた人づくりを目指すものです。この理念は創立時から現在まで一貫して受け継がれてきています。

一方で、教育体制や教育内容に関しては先例にとらわれることなく、不断の見直しを重ねてきました。10学部を擁する中京大学では、教育を取り巻く環境が激変するなか、14年度から10年間の長期計画「NEXT 10」に基づく改革を進めています。キャッチフレーズは「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」です。中京大学附属中京高等学校は、19年度から国際コースを開設するなど、中期計画の下で新たな取り組みを展開しています。

少子高齢化が加速するわが国では、学生や生徒一人ひとりの個性をいかに引き出して伸ばしていけるのか、教育の質がこれまで以上に問われる時代を迎えます。梅村学園は創立100周年に向け、「ベストMAX」をスローガンに、よりブランド力を向上させるとともに、社会に貢献できる人材の育成に力を注いでまいります。新たなステージに挑み続ける梅村学園に、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

中京大学2020年度卒業式

中京大学の2020年度卒業式が3月19日、日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)で行われました。本年度は、混雑緩和のため例年の午前午後二部制から、三部制に変更されたの開催となりました。厳かな雰囲気の中、安村仁志学長(代読:種田行男副学長)による式辞が述べられ、また卒業生に向けて梅村清英総長・理事長から祝辞が贈られると、一部では高橋愛麗さん(総合政策学部)、二部では福島雅貴さん(工学部)、三部では新宅璃子さん(国際英語学部)が各部を代表して謝辞を述べました。



高橋愛麗さん(総合政策学部)



新宅璃子さん(国際英語学部)



福島雅貴さん(工学部)



安村仁志学長式辞

皆さんにとって卒業を前に学びをまとめ、卒業後の生きる場を求めていく学生生活の集大成となる大切な年であったはずのこの一年は、新型コロナウイルス蔓延により大きな「試練」の年となりました。「試練」は、辛いものです。しかし、そこでは何事もなく過ごしているときにはない、深い意味に気付かされます。また、それに立ち向かうことによって新たな発見をすることが出来ます。皆さんは今回の試練を通じて確実に、今まで気付かなかったものに気付き、そこに新たな意味を見出し、新たな勇気と希望を与えられたに違いありません。皆さんは、これからの時代を生きていく人々です。重荷としてではなく、着実に新しい課題に挑んでいくチャレンジのうちに生きていってください。

※体調不良の安村学長に代わり、式辞は種田行男副学長により代読

梅村清英総長・理事長祝辞

新型コロナウイルスの流行拡大で、私たちの生活は一変しました。本学でも春学期の開講を遅らせ、全学的にオンライン授業を導入するなど対応を余儀なくされました。皆さんは大学最後の年に友人と自由に会えず、例年通りの学生生活を送ることができなくなってしまう、残念な思いをされたことでしょう。皆さんの健康と安全を第一に考えての措置だったことを理解してください。皆さんを迎え入れる社会は今、大きな転換期に突入したといえます。中京大学は、教育目標として「自ら考え、行動すること」ができる、しなやかな知識人の育成」を掲げています。将来が読みにくく、柔軟性が求められる時代であるからこそ、中京大学を巣立っていく皆さんのしなやかな感性に大いに期待したいと思います。

スケート部の松田悠良さんが式典終了後に記者会見

記者会見に臨んだスケート部の松田悠良さん(スポーツ科学部)は、大きなけがを経験するなど苦しい時期もありましたが、それ以上これからの人生においてかけがえのないものを得られた4年間でした。学生生活を通してスケートが好きだという気持ちに改めて気付きましたと振り返りました。



中京大学2021年度入学式

中京大学の2021年度入学式が4月1日、日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)で行われました。例年の午前午後の二部制から三部制に変更したほか、会場内の座席数を絞るなど感染対策を万全に期した上での開催となった21年度入学式。新しい生活への期待と希望を抱く学生たちに向けて梅村清英学長(21年4月1日就任)が式辞を述べると、一部では桂田佑奈さん(国際学部)、二部では渡會真悠さん(経済学部)、三部では井川快斗さん(スポーツ科学部)がそれぞれ、学生代表として宣誓の言葉を述べました。

梅村清英学長式辞

中京大学の教育の基本方針は「自ら考え、行動すること」である、しなやかな知識人の育成です。しなやかとは「難局にも、くじけない、柔軟で強い」という意味です。まさにこの転換期に必要な資質であるといえるでしょう。大学は高校とは異なり、自らがテーマを決め、主体的に学んでいく場です。意欲を持って学び、考える力を養い、自分自身の可能性を大いに広げていってください。



スポーツ科学部新入生の山下真瑚さん、浦松千聖さんが記者会見

式典終了後、フィギュアスケートの山下真瑚さんと浦松千聖さんが記者会見に応じました。山下さんは「小学校、中学校、高校とずっと地元愛知県でスケートをやってきました。中京大学に入学して、これからまた愛知県で4年間を過ごすことができるのがうれしいです。地元の人たちに応援していただけるようなスケートを見たいと思います」と地元への思いを語り、浦松さんは「入学式という看板を見て、改めて大学生になったのだと実感しました。学業とスケートの両立は不安もあるけれど楽しみです」と新生活への意気込みを語っていました。



山下真瑚さん



浦松千聖さん



桂田佑奈さん(国際学部)



井川快斗さん(スポーツ科学部)



渡會真悠さん(経済学部)



2021年度 中京大学新体制 梅村総長・理事長が学長に就任

2021年3月31日で任期を満了した安村仁志氏に代わり、中京大学を運営する学校法人梅村学園総長・理事長の梅村清英氏が4月から中京大学学長を兼任することになりました。任期は21年4月1日から23年3月31日までの2年間です。

新体制に伴い、副学長に中村雅章教授(経営学部)、橋本学教授(工学部)、学長補佐に梅村義久教授(スポーツ科学部)、山田高資学事局長(学事局)が新たに就任しました。また、学長補佐の佐道明広教授(国際学部)、大森達也教授(総合政策学部)は再任となりました。新しい組織体制で教育の質の保証、研究の一層の充実を進めていきます。



学校法人梅村学園 総長・理事長
中京大学学長
梅村 清英

安村仁志先生の後を引き継ぎ、2021年度から第9代学長を務めることとなりました。学校法人梅村学園の理事長が本学学長を兼務するのは、初代理事長・学長だった梅村清明先生が1972年3月末で学長を退任されて以来、ほぼ半世紀ぶりです。重責ではありますが、安村先生が常に強調しておられた「大学の主人公は学生」という言葉を胸に刻み、職務にまい進していく覚悟です。

コロナ禍で大学を取り巻く環境は激変しています。しかし「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人の育成」を教育目標に掲げる本学にとって、学生に質の高い学びを

提供していくのは大きな責務です。研究においても一層のレベルアップを図って社会への発信を拡大していかねばなりません。校訓「真剣味」に代表される本学ならではの教育理念はしっかりと貫きながら、その一方で変えるべきものは大胆に変革し、さらに確固たる発展に向けて挑戦していきたく考えます。

梅村学園は2023年に創立100周年、中京大学はその翌年の24年に開学70周年を迎えます。誇りと自信をもって節目の時を迎えられるよう、さまざまな課題を乗り越え、より魅力ある大学を築いていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



副学長(教育担当)
経営学部長、経営学研究科長
中村 雅章

梅村学長の方針の下、「学生が主役の教育」、「学生を大切にできる教育」、そして「学生が満足する教育」を目指します。学生が主体的、能動的に学べるように環境を整え、学生の個性と潜在能力を引き出し、学生が成長の実感を得られるような、満足度の高い教育を追求します。教職員と力を合わせ、これまでの教育改革の施策を着実に進め、中京大学の教育ブランドを確立できるように努力してまいります。

【略歴】1990年名古屋工業大学大学院工学研究科博士後期課程。博士(工学)。95年中京大学経営学部助教授、同教授。経営学部長、経営学研究科長、学長補佐などを歴任。



副学長
(研究・産官学連携担当)
工学部教授・工学研究科長
橋本 学

実社会に柔軟に対応し、活躍する人材を育成するためには、社会との接点を意識した教育が重要と考えます。大学における「研究」には、研究成果による産業界への直接的な貢献だけでなく、日々の学業の場にはリサーチを提供し、生きた教育を実現するという大切な役割があります。このような研究と教育のシナジー効果を目指し、関係機関と連携を深めながら、本学全体の研究力の向上に努めてまいります。

【略歴】1987年大阪大学大学院工学研究科修士課程。博士(工学)。民間企業の研究員を経て、2008年中京大学情報理工学部教授。13年工学部教授。同副学部長、同学部長などを歴任。



学長補佐(教育担当)
スポーツ科学部教授
梅村 義久

大学の教育改革がうたわれてから久しく、シラバス、ルーブリック等の教育に関するツールが整備されてきました。これらの発展的な運用により大学教育をさらに充実させ、かつ学修成果の可視化などの課題にも対応していくことが重要と考えます。また、コロナ禍により余儀なくされたオンライン授業には利点と新たな可能性を感じています。時代に鑑み、大学教育を発展させるべく役割を果たす所存です。

【略歴】1987年東京大学大学院医学系研究科博士後期課程。博士(保健学)。91年中京大学体育学部講師、同助教授を経て、同教授。2011年中京大学スポーツ科学部教授。スポーツ科学部学部長、中京大学体育会会長などを歴任。



学長補佐(研究・国際化研究科再編担当)
国際学部長
佐道 明広

大学は近年、Society 5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させた社会システム)の構築と、グローバル化という2つの側面に対応できる人材を育成するためさまざまな改革を行っています。そのためには学部教育だけでなく大学院教育の充実が必要であり、単なる語学教育にとどまらない深い教養と高い専門性を身に付けた人材の育成が求められています。新型コロナウイルス流行の終息後を見据えつつ改革を進めてまいります。

【略歴】東京都立大学大学院社会科学部研究科博士後期課程。博士(政治学)。2004年中京大学商学部助教授。05年総合政策学部教授。総合政策学部長、経済学研究科長などを歴任。



学長補佐(学生支援担当)
総合政策学部長
大森 達也

梅村新学長体制の下でも学生支援および高大接続担当の学長補佐を引き続き務めることとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大により、学生の生活は大きく変わり、新たな学生支援のあり方が問われています。また、わが国では共通テストの導入や新学習指導要領の実施など高校と大学の間での円滑な接続改革が進められています。本学において、それらにこたえるべく、職責を果たしてまいります。

【略歴】1998年名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程。博士(経済学)。98年松阪大学政治経済学部講師。2001年同政策学部助教授。05年、重中京大現代法経学部助教授、同教授。13年中京大総合政策学部教授。総合政策学部長、経済学研究科長などを歴任。



学長補佐(学事担当)
行政学部長、学事局長、同学部長
山田 高資

今、大学には「学修者本位の教育」が求められており、「何を教えるか」から「何を学び、身に付けられたのか」へのパラダイムシフトが必要とされています。中京大学は「大学の主人公は学生」を掲げ、教壇に立つ教員とともに大学運営を担う職員が一致団結して、学生自身が成長を実感できる教育の実現を目指します。学生の皆さんが卒業する時「中京大学で学んで本当によかった」と振り返ってもらえるよう、尽力してまいります。

【略歴】1989年日本体育大学体育学部。92年中京大学入職。学校法人梅村学園行政本部学事局学事部長、同財務局財務部長(管財担当)などを歴任。

「Tongaliプロジェクト」
参加で磨いた伝える力。



久野 私はディープラーニング「Generative Adversarial Network (GAN)」を利用した音源分離を研究しています。将来この研究で起業できたらと考えています。研究のためには英語論文を読む機会が多く、英語が苦手な私は苦戦してました。そこでTongaliプロジェクトのプレゼンテーションコンテストや英語講座を受講してみることに。その成果を試すため、15分間のスピーチを行う「ジャパンビジネスモデルコンペティション」に参加しました。日本大会で優勝できたのは、自身の成長を感じますね。

中村 15分間ってすごい！Tongaliプロジェクトはプレゼンテーションやコンテストの機会も豊富です。私はゼミで企業とコラボレーションして商品の企画・開発を行ったのですが、その際にTongaliプロジェクトの「アイデアピッチコンテスト」での経験が生まれました。コンテスト参加企業の方から企業側の目線でアドバイスをいただいたことで、商品企画のアイデアを見直すきっかけになったんです。ゼミ活動への意欲もさらに向上しました。

中京大学 × Tongali Project

トングリプロジェクト

中京大学の枠を超えて 社会とつながる一歩を踏み出す。

中京大学では、社会の最前線で活躍する企業や行政とともに実践的な学修を行う「産官学連携」を積極的に行っています。今回は「Tongaliプロジェクト」に参加した学生4人に、活動を通じて得たものや自身の成長について語ってもらいました。

—「Tongaliプロジェクト」とは?—

東海地区にある10大学(名古屋大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学、中京大学、名城大学、藤田医科大学、名古屋市立大学、岐阜薬科大学)と企業が連携して、次世代の起業家を育成・支援するためのプログラム。東海地区の大学に在籍中、もしくは卒業生なら無料で参加可能。起業のためのノウハウはもちろん、活動拠点の提供や資金援助、語学学習など多面的な活動を行っています。

久野 文菜さん
工学研究科情報工学専攻 修士課程 2年

データの規則性や関連性を見つけ出すディープラーニング「GAN」を利用した音源分離を研究し、iOSアプリの開発に着手。情報処理推進機構の「未踏IT人材発掘・育成事業」に採択、アメリカで開催されるITイベント「SXSW」への愛知県からの派遣学生に選抜されるなどした。その後Tongaliプロジェクトにはビジネスや語学をより深く学ぶため参加



中山 裕貴さん
工学研究科情報工学専攻 修士課程 1年

小鼻の動作を用いたハンズフリーの動作入力システム「NISH」を開発。小鼻の拡張度合いに応じてPCやスマートフォンなどへの文字入力や高度な操作を可能にすることを目指し日々研究活動中。Tongaliプロジェクトでは「NISH」商品化に向けたノウハウやビジネスモデルの構築を学修



中村 真夕さん
総合政策学部 2年

塗装メーカー・株式会社五合とコラボしたキャンプレート「Earth Gear」の企画・開発。先生の薦めから参加したTongaliプロジェクト「アイデアピッチコンテスト」ではTongali賞を受賞した。「Earth Gear」開発後はクラウドファンディング「Makuake」で商品を発売



川崎 私もお二人の気持ちはすごくよく分かります。Tongaliプロジェクトの活動で「西尾の抹茶」を通して愛知県の観光PRをしていて、他大学の学生さんや企業にPR活動の内容や企画をプレゼンすると、オーディエンスの質問に戸惑うこともあり、もっと知識を深める必要があると改めて感じました。学外の方とコミュニケーションを交わしたことで、今まで以上に情報を深掘りするように意識が変わりました。

中山 それまで起業ってどこか遠い話だと思っていました。Tongaliプロジェクトに参加する学生の皆さんのビジネスプランを聞いて、そんなに遠い話ではない、と思うようになりました。



にアイデアを磨きながら研究活動を続けていきたいです。

中山 Tongaliプロジェクトはとにかく学生もスタッフさんも、起業に向けて本気で取り組んでいます。僕は、現在研究している「NISH」というデバイスの商品化するためのビジネスのノウハウをTongaliプロジェクトで学びました。「就職だけでなく、起業するという選択肢もある」と広い視野で考えられるようになったので、起業に対するハードルが、良い意味で低くなったと思います。



川崎 私は起業に関してまだまだ勉強不足ですが、自分自身がTongaliプロジェクトでの活動を通じて追究してきた「西尾の抹茶」のPR活動やビジネスアイデアの企画・立案が、より現実味を帯びた内容に仕上がっていき、実感がありました。これからも、Tongaliプロジェクトでさら



久野 私もお二人のお話に同感です。学内で追究してきた研究内容を起業に結び付けられるかも、と期待が持てました。今後の研究活動や将来の起業に向けて、Tongaliプロジェクトで学んだ知識を活用していきたいです。



川崎 南奈さん
総合政策学部 2年

大学1年次から愛知県主催「あいち学生観光まちづくりアワード」に参加し「西尾の抹茶」をテーマに愛知県の観光PR。その後Tongaliプロジェクトで他大学の学生とともに「全国地域ブランド総選挙」に参加し、InstagramでのPRや動画作成で地方創生に貢献。最優秀賞を受賞

自身の学びを別の角度から考え直す。

(2021年1月取材)

「織田作之助青春賞」を受賞



「夜明珠」のあらすじ

大学図書館で司書のアルバイトをしている主人公は、閉館後の館内で床に落ちた筆箱を見つける。それが図書館の常連の女性のものだと気付いた彼は、それを届けたことをきっかけに彼女と知り合う。彼女は香港からの留学生で、翻訳を学びに日本に来ているという。少しずつ親しくなっていく二人だが、香港のデモは激化し、ある日突然、彼女は故郷に戻ってしまう。

※「夜明珠」は「三田文学 2021年冬季号」に掲載

大阪生まれの作家、織田作之助(1913〜47年)にちなんで「2020年度織田作之助青春賞」に、文学部1年の三浦育真さんの短編小説「夜明珠(イエミンジュ)」が選ばれました。24歳までの若手が対象となり、新人の登竜門ともいえる同賞。夜明珠は三浦さんにとって初めての社会派小説となり、完成させるため多数の小説を読み込み、表現や心理描写などへの造詣を深めていったそうです。また「さまざまな時代やさ

まざまな国の文学を比較する授業『比較文学』はとても参考になりました」と語るように、文学部での学びも今作に生かされたそうです。三浦さんは「今後も小説を書く続けて、新人賞(プロ)につながる賞」を受賞したいです」と意気込みます。三浦さんは、今回の「織田作之助青春賞」受賞が評価され、学内外で活躍している学生を本学学長が表彰する「学長賞」も受賞しました。

総合政策学部 今井良幸ゼミ

#受賞 #産学連携

内閣府主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト」にて中部経済産業局長賞を受賞



(左から)太田さん、知花さん、新美さん、中部経済産業局・畠山一成局長、浅井さん、水谷さん



総合政策学部今井良幸ゼミ3年の浅井紗耶可さん、太田壮一郎さん、知花潤也さん、新美啓人さん、水谷記子さんの5人は「地方創生☆政策アイデアコンテスト2020」(主催:内閣府、共催:経済産業省)に今井ゼミチームとして応募。「中部経済産業局長賞」に選ばれました。

同コンテストは、地域経済分析システムRESAS(※)を活用した政策アイデアを募集するもの。今井ゼミチームは「牛乳de地方創生 喉も地域経済も潤す半田の牛乳」というテーマで、愛知県半田市を盛り上げる企画を提案しました。新美さんは「審査ではRESASデータをいかに正しく読み取るか、有効活用できるかということが求められていた」と

思います。地域の問題解決を目的に、計画的に調査、提案を考えた点が評価されました。大変うれいです」と喜びを語りました。その後、12月19日に行われた全国審査にも進出し、協賛企業賞「HROGリスト賞」の受賞を果たしています。

※RESAS(リサーチは人口動態や産業構造人の流れなどの官民ビッグデータを集約し可視化するシステム。経済産業省と内閣官房(まち・ひととこと創生本部事務局)が提供している。



学生の活動

総合政策学部 坂田隆文ゼミ×株式会社五合

#産学連携

特許技術を活用したキャンプ用品を企画販売

坂田ゼミ2年の中野由唯さんは「アイデアを一人100案出すところから始めました。商品化したいと思える案をなかなか出すことができず、商品を企画し、それを実際に販売するというこの大変さを肌で感じました」と語っています。

総合政策学部の坂田隆文ゼミでは、知的財産を活用しモノづくりに挑んでいる塗料メーカー「株式会社五合」から依頼を受け、コロナ禍においてもオンラインによる打ち合わせを重ねた結果、キャンププレートの商品「Earth Gear」を企画販売しました。水だけで汚れを流し落とせる塗料「ゼロクリア」(特許取得済)を開発した同社。その技術力の高さからゼロクリアは、既に東京の地下鉄駅構内、大手家電メーカーの洗濯機ドラムで採用されています。

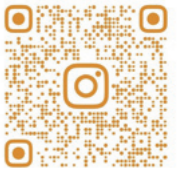


数あるアイデアの中から今回開発された「Earth Gear」は、キャンプの際に使用した食器を、環境を汚染することなく水だけで洗えるという特長をもっており、キャンパーたちから高く評価されています。「Earth Gear」はクラウドファンディング「Makurake」で2020年11月30日から販売を開始し、1月には目標額の1300%の売り上げを達成しました。

アースギア Earth Gear



(関連サイト)
坂田隆文ゼミ (<http://www.sakataseminar.jp/>)
株式会社五合 (<http://www.gogoh.jp/>)
Earth Gear HP (<https://www.earthgear-gogoh.com/>)



EARTHGEAR.JAPAN

#産学連携

中京大学×一般社団法人中部経済連合会

キャリア教育共創プログラム

経済学部×三井住友海上火災保険

(2020年10月8日開催)

「三井住友海上火災保険株式会社」で採用を担当している北川尚稔さんと水谷菜由さんが講師を務め、損害保険の社会的意義や損害保険業界の未来について話しました。講義の後半には質疑応答の時間を設け、採用担当者の目線でこれから就職活動を迎える学生たちにアドバイスを送りました。



経済学部×三重銀行

(2020年10月22日開催)

三十三フィナンシャルグループのグループ企業である「株式会社三重銀行※」人事部の西川潤さんが「企業が求める人物像・働き方」をテーマに講義を行いました。その中で、地方銀行の使命や銀行員として活躍するために大切なこと、就職活動の時間を有意義なものにするポイントを学生たちに伝えました。※取材時の名称です。



経済学部×三井不動産リアルティ

(2020年12月3日開催)

「三井不動産リアルティ株式会社」名古屋支店業務部の林良典さんが、社会人として働くうえで大切なことや信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを学生たちに伝えました。併せて、コミュニケーションスキルを習得するために、話す力と聴く力を身に付けていく大切さを説きました。



中京大学では、一般社団法人中部経済連合会(中経連)の産学共創によるキャリア教育(人材育成)実践策「キャリア教育共創プログラム」を行っています。本プログラムは、中経連が事務局役を担い、大学が求めているテーマに応じ、企業が求めているテーマに並び、企業が求めている人材像の共有化や大学での学びに対するモチベーション向上などを目的としています。



前例も、先例もないまちづくり。
ひとりでも多くの方に
双葉町の“今”を知ってもらい、
未来につなげる。



卒業生

インタビュー

Alumni Interview

県民の皆様のために、
より早く、より正確な情報を届ける
使命を感じていた。



私は2017年に経済産業省中部経済産業局に入局し、自動車関連産業や機械産業をはじめとしたものづくり産業の振興業務などに従事しました。その後、19年5月からは経済産業省支援員として、福島県双葉町で企業誘致を中心に復興・まちづくりに関する業務を行っています。企業誘致とは、県内外の企業が双葉町に工場などを建設することで地域活性化等を図る取り組みです。双葉町は、東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故から10年たった今でも放射性物質による汚染の影響で全町(全町民)避難が継続しておりますが、20年3月にJ-R双葉町周辺と、産業団地が含まれる地域で避難指示解除をしました。22年春、この居住開始を目標に、生活環境の整備やインフラの復旧に取り組んでいます。住民が0人から始まる、前例も、先例もないまちづくりになりますが、全国に避難された方や、双葉町に移住して住みたいという方が増えるような魅力のあるまちになるように励んでいます。

復興に関わりたいと考えたのは、大学在学中でした。被災地のために何か行動を起こせないかと強く感じ、2年次に宮城県での復興ボランティアに参加しました。現地を足で運ぶと、それまではテレビの前でしか見たことなかった東北の現状を目の当たりにして、胸が張り裂けそうになりました。自分も被災地の力になりたいとさらに気持ちが高まったのを覚えています。

仕事をすることで大学の学びが生きていると感じるのは、2年次から所属した釜田ゼミでのプレゼンテーションの授業です。スライドの出し方や間の取り方、聞き手が何を求めているのか

私は総合政策学部を卒業後、愛知県庁に入庁し県民生活課に配属されました。2020年8〜9月には、新型コロナウイルス感染症対策課を兼務し、県内の新型コロナウイルス感染症対策の最前線で働いていました。

感染症対策課では、主に感染者の集計と公表に携わっていました。感染者の増減は多くの人たちが注目する数字です。県民のために、早く発表したいという「スピード感」と、強い影響力のある数字なので、絶対にミスが許されない「正確性」の両立に日々苦労していました。苦勞を感じると同時に、感染症対策課の日々は普段の業務では得られない新しい出会いもありました。普段関わりのない部署や、さまざまな専門家と仕事をすることで、新しい発見や刺激を受けました。大変な状況ではありましたが、貴重な経験を積むことができたと感じています。

コロナ禍の最前線で働いた経験を通して、今後の生活の在り方について「正しく恐れる」ことが大切だと感じるようになりました。やみくもに恐れるのではなく、正確な情報を見極めて、正しい対策をしていくことが必要です。そのためには、愛知県としてあらゆる情報を正しく丁寧に発信していけるよう努めていきたいと考えています。

2カ月の兼務を終了した現在、県民生活課の消費生活総合センターで業務に従事しています。消費生活総合センターには消費者の相談に対応する相談員が配置されており、私はそのバックアップに携わっています。悪質商

などを授業で身に付けることができました。例えば、企業誘致の事業計画の際には、企業に説得力のある説明ができ、より相手とのコミュニケーションが円滑になったと感じます。国家公務員として住民や企業の方の意見を聞いて、今後の政策や課題解決方法の提案をしていく大きな助けになっています。

双葉町で働く中で特に印象深かったのが、岐阜県に本社を置く浅野燃系株式会社の企業誘致です。同社は、魔法のタオルで有名な「エアーカオル」を企画・販売する繊維業界のリーディングカンパニーです。岐阜県に燃系の工場を構えています。他県にも工場・店舗を進出させたいとの声を伺い、誘致活動をして双葉町への進出を決断いただきました。その後、同社と双葉町がコラボレーションしたタオルタキシメテフタバを21年4月から販売しています。タオルをきっかけに東海地方と福島県がタッグを組んだことで、東海地方の人たちにも双葉町を知っていただくきっかけにもなり、復興が前に進んだうれしさを感じました。

福島県の「今」を一人でも多くの人に知ってもらうことも私の使命です。東海地方に住む人たちが、福島県産の野菜や魚などを意識して購入してみようかなと考えていただくことだけでも復興の一步につながると信じています。大学4年間という年月の中で、私が東北でのボランティア活動やゼミを通して見聞が広がったように、中京大学の学生の皆さんも自分の限界を決めずに、さまざまなことにチャレンジしてほしいです。

法や詐欺、クーリングオフなど、さまざまな相談が寄せられます。最近では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、マスクの買い占めや除菌サービスを装った詐欺など新たなトラブルも起きています。県民の抱えるトラブルは日々変化していきます。その中で、幅広い相談に対応するために、私たちは相談員に対する研修や勉強会を行っています。相談員を支援するには、職員自身も消費トラブルに対して確かな知識を持つ必要があると必要です。社会でどんな問題が起きているか、その解決のためにはどのような知識が必要なのかを日々探求しています。公務員の仕事の良いところは、公益性の高さだと考えています。愛知県庁に属し、県民のために社会貢献度の高い仕事をしているということは、やはり大きなやりがいです。「県民のため」という姿勢を崩さず、たとえ、今後も誠実に仕事に向き合っていきたいと思っています。

大学生活を振り返ると、1年次から宅地建物取引士などの資格取得に注力し、3年次からは公務員試験に向けて全力で取り組んできました。この時の努力を結果につなげられたとかやり抜けるはず!という大きな自信になっっています。皆さんも大学生活を通して、何か一つでもいいので頑張つてやり抜いたと胸を張つて言えるものを見つけてください。

※所属については取材時のものです。
(2021年2月取材)



Topic 01

2020年度中京大学チャレンジ奨励金 活動の最終結果を報告



2020年度「中京大学チャレンジ奨励金」採択プロジェクトの代表者による最終活動報告会が、2月22日に名古屋キャンパスで行われました。

中京大学チャレンジ奨励金は、中京大学が実施する給付制度の一つで、学生の積極性やチャレンジ精神を育むことを目的として、20年度から実施が始まりました。新たな活動や取り組みが生まれることで、大学だけでなく、地域社会の活性化まで促す狙いがあります。

20年度は12組の応募があり、書類審査とプレゼンテーション審査を経て7組のプロジェクトが採択されました。代表者はリモートで報告会に参加し、プロジェクトの内容や目的、実施した結果や達成度合い、プロジェクトを通しての気付きや今後挑戦したいことを報告しました。

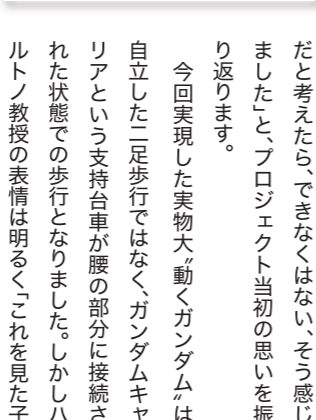


也学長補佐は、「コロナ禍で思うように動けない中、約8か月間本当によく頑張ってくれました。皆さんが建学の精神の四大綱『ルールを守る』『ベストを尽くす』『チームワークをつくる』『相手に敬意を持つ』を実践してくれたことをうれしく思います。自身の継続か、あるいは後輩に託すといった形で、プロジェクトを引き継いでいただけたらと思います」とねぎらいの言葉を贈りました。

優秀賞には「中京大学スケート部員によるアイスショー動画配信」(代表谷口美菜さん・国際教養学部4年)と「Japanese for you」(代表ダオ・ティニンさん・経営学部2年)が選ばれました。

Topic 03

工学部ハルトノ・ピトヨ教授が技術監修で携わった 実物大、動くガンダム



GUNDAM FACTORY YOKOHAMAにて公開中

だと考えたらず、できなくはない、そう感じましたと、プロジェクト当初の思いを振り返ります。

今回実現した実物大、動くガンダムは自立した二足歩行ではなく、ガンダムキャリアという支持台車が腰の部分に接続された状態での歩行となりました。しかしハルトノ教授の表情は明るく「これを見た子供たちが『支えなしで歩かせるには?』『アニメのように飛ぶガンダムを作るには?』と、次の夢を思い描いてくれたら」と笑顔で語ります。

実物大ガンダムを動かすという大きな夢を叶えたハルトノ教授、「いつかこの実物大ガンダムの前で、力学の授業をしてみたいですね」と、次なる夢を語りました。

(2021年3月取材)



全高18mの実物大ガンダムを動かすために設立されたプロジェクト、ガンダム GLOBAL CHALLENGE。世界中からガンダムを動かすアイデアを集めるオープンイノベーションを通じ、さまざまな意見や知恵、技術を取り入れて、基本設計、実施設計、検証実験を重ねて、動く実物大ガンダムを見事に実現。実物大、動くガンダムは、2020年12月から22年3月まで、横浜市のGUNDAM FACTORY YOKOHAMAにて公開されています。

工学部のハルトノ・ピトヨ教授は、「ガンダム GLOBAL CHALLENGE」の5人のプロジェクトリーダーの一人であり、技術監修として14年からこのプロジェクトに携わっています。全高18mものロボットを動かすことは「人間型ロボットだと考えると不可能。でも、これが重機や動く建物

Topic 02

経済学部山田光男教授・中山恵子教授 より良い地球環境への一助となる 「ムーンショット型研究開発事業」に携わる

中京大学は、名古屋大学、東邦ガス株式会社、東京理科大学、東京大学とともに、液化天然ガス(LNG)の未利用冷熱による大気中のCO₂直接回収技術「Cryo-DAC」の研究^{※1}をプロジェクトマネージャーである名古屋大学大学院工学研究科則永行庸教授の指揮の下、開始しました。

本研究は、内閣府が主導する「ムーンショット型研究開発制度^{※2}」で決定された7目標のうちの一つ、目標4の「2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現」に向けたプロジェクトの一つで、LNG未利用冷熱を活用することで、より効率的に高純度かつ高圧のCO₂を回収できる技術開発を目指すものです^{※3}。

中京大学は、東邦ガス株式会社からの再委託を受け、Cryo-DAC^{※4}システム開発に関連し、同システムが社会に実装されたときの経済性・環境性に関する評価技術の開発を、経済学部の山田光男教授と中山恵子教授が担います。

従来は新たな外部エネルギーを投入することでCO₂を回収しますが、Cryo-DACシステムは未利用のLNG冷熱を活用することで、CO₂回収に要する新たなエネルギー投入を大幅に削減します。回収されたCO₂がメタンや他の石油化学製品の原料として循環利用することができるよう

になれば、その分輸入エネルギー資源を代替できる可能性があります。そのため、CO₂回収と利用に必要な技術面や環境面の情報を統合した産業連関分析ツールを開発し、社会全体としての効果を評価することが重要となります。



今回、開発を目指す技術(Cryo-DAC^{※4})を核とするカーボンサイクル^{※5}(イメージ図)

※1 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「ムーンショット型研究開発事業」に係る委託事業(東邦ガス株式会社との業務委託契約締結に基づく)。
※2 超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、人々を魅了する野心的な目標「ムーンショット目標」を国が設定し、挑戦的な研究開発を推進する制度。
※3 研究期間は2020、2022年度の3年間(2022年度、2024年度、2027年度に中間評価を受けることが前提で、最長2029年度までの10年間)。
※4 冷熱を表す「Cryogenics」の「Cryo」と、大気中CO₂の直接回収「Direct Air Capture」の「DAC」を組み合わせた造語「Cryo-DAC」と読む。
※5 CO₂を炭素資源カーボンと捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用のサイクルすること。

Topic 04

UNIVAS AWARDS 2020-21 2部門で「最優秀賞」を受賞

一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)※主催の「UNIVAS AWARDS 2020-21」の表彰式が、3月29日オンラインで開催され、ソフトボール部(女子)の安山涼香さん(経営学部4年)とサッカー部コーチの吉田匡孝さんが「最優秀賞」を受賞しました。

UNIVAS AWARDSでは競技成績だけでなく、学業充実や安全安心、大学スポーツの盛り上げなどにおいても著しい成果を上げ、同協会の理念の体現に貢献をした人材、団体が表彰されています。

【バーソン・オブ・ザ・イヤー部門】
ソフトボール部(女子)
安山涼香さん(経営学部4年)

ソフトボール部の主将として、新型コロナウイルスによる活動休止中にオンラインミーティングを通じてチームビルディングを実施し、チームワークを高め、部内の意思疎通に尽力。競技においても全国大学選抜女子ソフトボール選手権大会で優勝した。



【コーチ・オブ・ザ・イヤー部門】
サッカー部 吉田匡孝コーチ
日本サッカー協会B級ライセンス保持者。コーチとしてサッカー部を指導しており、20年度は新型コロナウイルスによる活動休止明けのトレーニングなどで傷害防止とコンディショニングなど、10年ぶりの東海学生王者などの成果につなげた。

学校法人梅村学園 梅村清弘名誉総長 学園葬



梅村清弘名誉総長 主な経歴と業績

- 1962年 学校法人梅村学園 理事・評議員
- 1965年 中京商業高校 校長
学校法人梅村学園 理事長代理
- 1967年 中京大学 体育学部教授
- 1974年 中京大学 体育学部長
- 1980年 中京大学 第3代学長
- 1988年 学校法人梅村学園 理事長
- 1990年 学校法人梅村学園 総長兼務
- 1994年 中京大学名古屋キャンパスに
センタービル完成
- 1995年 中京大学附属中京高等学校に改称
中京大学オープンカレッジ開校
- 1998年 中京大学附属中京高等学校
男女共学化
- 1999年 資格対策講座開講
- 2011年 学校法人梅村学園 最高顧問
- 2014年 学校法人梅村学園 名誉総長



梅村清弘名誉総長の誕生日である4月25日に学園葬が行われ、大村秀章、愛知県知事をはじめとした来賓や学園関係者らが多数参列。会場には梅村清弘名誉総長のこれまでのあゆみを振り返る写真などが展示され、参列者はあらためて故人の功績を称えていました。

**11学部11研究科の総合大学へ。
「開かれた大学」を目指し、学園を牽引。**

学校法人梅村学園梅村清弘名誉総長が2020年11月26日、満83歳にて永眠いたしました。葬儀はコロナ禍のため、11月29日に家族葬にて営まれました。

梅村清弘名誉総長は、中京中学校校長、中京商業高校校長、梅村学園理事長代理、中京大学体育学部教授、中京大学体育学部長、中京大学学長、梅村学園総長・理事長などを歴任しました。

27歳で校長に就いた中京商業高校(現・中京大学附属中京高校)では、商業科を廃止して普通科のみとし、大学への附属校化、男女共学化を実現しました。また、国際英語クラスの設置、高大連携教育導入に向けた改革を推進しました。

中京大学では、学長就任時(1980年)の4学部4研究科体制から、11学部11研究科の総合大学に発展させ、学長を2期8年間務めた後は88年から23年間、理事長として梅村学園を牽引しました。また、「開かれた大学」を他の大学に先駆けて表明し、名古屋キャンパスでオープンカレッジや公開講座を実施するなど社会人教育にも力を入れました。

文部省(現在の文部科学省)保健体育審議会委員を約18年務めたのははじめ、国や愛知県等の公職に就き、社会体育、学校体育の発展に尽力。93年に藍綬褒章、2009年に旭日重光章をいずれも私学振興の功績で受賞しました。このような生前の功績が称えられ、21年1月8日の閣議決定により、叙位「正四位」が贈られました。

梅村清弘名誉総長の誕生日である4月25日に学園葬が行われ、大村秀章、愛知県知事をはじめとした来賓や学園関係者らが多数参列。会場には梅村清弘名誉総長のこれまでのあゆみを振り返る写真などが展示され、参列者はあらためて故人の功績を称えていました。

学園葬当日の様子は5月下旬以降、中京大学公式ホームページにてご紹介させていただきます。また、次号では学園葬の詳細を特集ページでご案内させていただきます。



総合大学の象徴となった名古屋キャンパスセンタービル



第30回大学祭で記念講演をする梅村清弘学長(1983年10月)



中京商業高校当時の梅村清弘名誉総長の走行フォーム(1954年)



1996年度卒業式で祝辞を述べる梅村清弘理事長

硬式野球部 第93回選抜高等学校野球大会で 24年ぶりとなるベスト4に輝く



朝日新聞社提供

第93回選抜高等学校野球大会が3月19日から4月1日まで阪神甲子園球場で行われ、中京大学附属中京高校硬式野球部は24年ぶりとなるベスト4に輝きました。

昨年に続いて出場権を獲得し、通算32回目の出場となる今大会。昨年は新型コロナウイルス拡大の影響により大会自体が中止になりましたが、今年は無事開催されることが決まり、開催前には原尚輝主将が「野球ができること、甲子園でできることに感謝して、応援している人たちに夢や希望を与えられるように頑張りたいです」と意気込みを語っていました。

初戦は専大松戸高校(千葉)と対戦して2-0で勝ち進み、2回戦は常総学院高校(茨城)に15-5で快勝。ベスト4が決まる準々決勝では東海大菅生高校(東京)に6-0で勝利しましたが、準決勝は3月31日に行われ、明豊高校(大分)と対戦しましたが、4-5で惜しくも決勝進出を逃しました。

第13回国際ピエル・ド・ クーベルタン・ユースフォーラム 日本代表に2人決定



前右から2人目が中村さん、後列右から1人目が濱口さん

オリンピックの根本にあるオリンピックズムの思想を広げる国際ユースフォーラム(国際YF)「第13回国際ピエル・ド・クーベルタン・ユースフォーラム」の代表に、国際コース1年の中村咲姫さん、濱口乃愛さんが選ばれました。

2人は、2020年12月26-27日に行われたオンライン選考会「クーベルタン—嘉納ユースフォーラム2020(兼 日本オリンピックアカデミー第8回ユースセッション)」を経て、日本代表に選出されました。国際YFでは、世界各国の若者が集まり、スポーツや芸術活動、文化的な交流を通してオリンピックズムを広げていきます。21年はキプロス共和国への派遣が予定されていましたが、新型コロナウイルス流行のため、オンラインでの活動となる見込みです。

異文化理解イベント 愛知県内留学生と 国際コース2年生が交流



留学生とグループワークで交流

株式会社トモノカイの推進する「トモノカイSDGsプログラム」の一環として、愛知県内で学ぶ留学生と高校生の交流を深める異文化理解イベントが、2021年2月8-10日、中京大学附属中京高校にて開催されました。留学生11人と国際コース2年生45人が参加し、国際的な社会問題についての議論や、留学生を交えたグループワークによるプレゼンテーションなどの交流プログラムを実施。生徒たちと留学生が異文化理解を深める貴重な3日間となりました。

参加した留学生は「自分たちの国について積極的に質問をしてくれてうれしかったです」と話し、参加生徒も「国際問題の今を知ることができて、とても興味深かったです」と振り返りました。



在学生の皆さまへ

中京大学の広報誌やスポーツ誌は、
卒業後は希望された方のみにお送りしております。
卒業後の送付についてご希望がありましたら、
コードを読み取り、登録をお願いいたします。

学園情報・広報誌等お申し込みフォーム

